



大阪早稲田倶楽部



晩秋早稲田／岡本 周三(昭57年社学)

2011. summer

vol.166

総会報告：大阪早稲田倶楽部定時総会・・・	1
記念講演：最近の新聞事情について・・・	2
食べ歩き：梅雨空にハモを食す・・・	3
特別寄稿：いろは歌について・・・	4
特別寄稿：今在りて～早稲田の「仲間」と共に・・・	5
経済部会：坐禅体験と精進料理に美酒・・・	6
ハイキング：京都・花見ウォーク&御所参観・・・	8
ハイキング：葛城山・ひと目百万本のツツジは・・・	9
特別寄稿：背筋伸ばして胸張って・・・	10
特別寄稿：あらゆる感傷を排して、今、できることを・・・	11

特別寄稿：「食べ物」あれこれ・・・	12
稲雲会：俳句会一年の歩み・・・	14～17
特別寄稿：小さな日中親善？・・・	18・19
新部会：新しい部会に歌声サロンと写真部・・・	20
フォーラム：雨のカフェ・ヴィーナーローゼを訪れて・・・	22
フォーラム：投資運用でだまされないために・・・	23
観戦記：早稲田ラグビーの突破力に心荒ぶる・・・	24
特別寄稿：ふたたび被曝・・・	25
平成23年度役員・理事名簿・・・	26・27
校友会大阪府支部・・・	28
収支決算書／規約改正・・・	29



THE SMALL LUXURY HOTEL



早稲田大学校友会会員様【特別ご優待プラン】 期 間／2013年7月31日までのご利用

ご宿泊

- 平日(日～木) 1名様利用1室料金(朝食付) **20,000円(税・サ込)**
2名様利用1室料金(朝食付) **25,000円(税・サ込)**
 - 金・土・祝前日 1名様利用1室料金(朝食付) **28,000円(税・サ込)**
2名様利用1室料金(朝食付) **40,000円(税・サ込)**
- 〈通常／57,000円～72,000円(2名様利用1室料金)〉

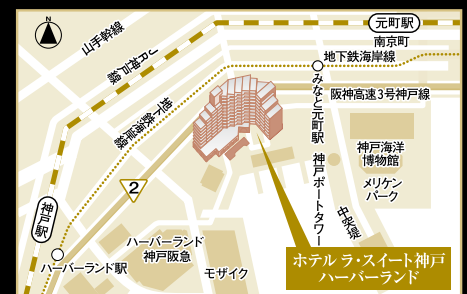
ランチ ディナー

- ランチ 食事代金(飲料除く) **10%割引**
- ディナー 食事代金(飲料除く) **15%割引**

※ルームサービス、ラウンジ&バーでのご飲食料金は除きます。

スパ トリートメント (女性専用)

- スパ利用料金 通常 6,300円(税込) ▶ **優待料金 3,150円(税込)**
※ご宿泊でのご利用の際は、1,050円(税込)となります。
※エステご利用の際は、無料となります。(30分のショート&オプションコースは除きます)
- トリートメント料金 **20%割引** ※化粧品等の商品代金は除きます。



ご予約・お問合せ

ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド

HOTEL LA SUITE KOBE HARBORLAND

〒650-0042 神戸市中央区波止場町7番2号

Tel 078-371-1111

<http://www.l-s.jp>

ラ・スイート

検索

株式会社ラスイート

代表取締役 関 寛之(平成8年 建築卒)

〈宴会、婚礼、会議でのご利用も優待料金にて提供させていただきます〉

※ご利用時に名刺を頂戴いたします。 ※ご予約時に上記プランご利用の旨をお伝えください。

※ご利用料金 1名様5,775円追加で、和室にて布団セットをご用意いたします。お子様添寝の場合は無料となります。 ※各種プランは割引対象外とさせていただきます。

※ゴールデンウィーク、8月1日、お盆、年末・年始、全館貸切り日等は除外日とさせていただきます。 ※客室タイプは選びいただけませんが、優先的にアップグレードさせていただきます。

※満室の際は、ご利用をお断りさせていただく場合がございます。



SMALL LUXURY HOTELS OF THE WORLD™

日本のホテルとしては初めて、スモール・ラグジュアリー・ホテルズ・オブ・ザ・ワールド [SLH] に迎えられました。



ミシュランガイド〈京都 大阪 神戸 2011〉

「神戸ホテル部門で最高の評価」を獲得。

©MICHELIN 2010

大阪早稲田倶楽部定時総会



挨拶する角会長

大阪早稲田倶楽部の2011年度定時総会が5月12日、大阪新阪急ホテルで開催された。約150人が出席し、冒頭、東日本大震災の犠牲者に黙祷を捧げた。角和夫会長は「震災で日本人の助け合う絆、及び古来

持っている美德を見ることができた」と述べたあと、被災地出身の早稲田の在学生や新入生らへ義援金などによるサポートを呼びかけた。

続いて2010年度の活動や決算報告、11年度の活動予定、予算案が審議され、いずれも原案通り可決、承認された。人見亨理事長は、この1年間、倶楽部財政の健全化に取り組み、成果を挙げたことを報告し、会員の協力に感謝の言葉を述べた。また、校友会大阪府支部との連携を強めることや新部会を立ち上げたことなど、活発な活動を引き続き進めていくことを表明した。

また、倶楽部規約の一部改正が審議された。会員の種類や総会の運営、役員を選任などが改正されたほか、青年部は卒業後15年以内とすることを新たに規定。理事の人数は「若干名」から「100名以内」に改めた。新任理事（任期2年）38人が承認され、現任

理事（任期1年）54人と合わせ、理事は92人となった。

総会に先立って行われた講演会では、佐藤三千男・読売新聞大阪本社常務取締役（昭和47年政経）が「最近の新聞事情について」のテーマで話した。総会後は懇親会があり、会員が親交を深め合った。大阪稲門グリークラブの18人による歌声も披露された。

講演録、倶楽部規約の主な改正点、役員・理事名簿、収支決算書は別項参照。



倶楽部の活性化を訴える人見理事長(左)



大阪稲門グリークラブが声高らかに

想いをかたちに

www.takenaka.co.jp

 **竹中工務店**

お問い合わせは——広報部へ 東京/〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目1-1 Tel.03(6810)5140 大阪/〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13 Tel.06(6263)5605

最近の新聞事情について

読売新聞大阪本社 常務取締役役員室長 佐藤 三千男(昭47年政経)

講演する佐藤三千男氏



新聞は今、構造不況業種と言われております。理由は3つあります。まず、新聞の販売収入の減少、2つ目は広告収入の激減、3つ目はインターネットをはじめとする新しい情報媒体の台頭による影響です。

まず販売について。新聞の部数は2000年は全国で5370万部だったのが、2010年は4900万部にまで減っています。10年で470万部です。減少の理由の一つは若い世代を中心にした新聞離れです。ネットでニュースの見出しを見て、簡単な記事だけを読んでそれですとすると人が少なくありません。今の30代はパソコン世代、20代は携帯世代、10代となると予測もつかない、という人の話を聞きました。この20代、30代が長じ、世の中の主力になった時に新聞はどうなっているだろうと聞くと、答えは「新聞の命運は尽きます」でした。私は必ずしもこの論には同調はしませんが、中長期的に見て新聞の部数は減っていくのは間違いないと思われます。

2つ目の広告の減少は深刻です。電通の調査によりますと、国内の広告費総額は、昨年は2000年に比べて4.4%のマイナスでした。それほど減ってはいいませんが、新聞の広告費はこの10年で49%減です。ところが、ネット広告は13倍の増えようです。この厳しい環境のもと、新聞各社はここ数年、厳しいコスト削減に取り組んでいます。新聞は、取材、印刷、輸送、配達と、人、モノ、金が膨大にかかる産業です。そこで、生き残りをかけ、数年前から新聞の共同輸送が始

まり、印刷の提携にまで進んでいます。読売新聞は新潟日報と富山の北日本新聞社に印刷を委託しました。また、朝日新聞とも印刷の提携をしました。朝日は香川県の丸亀工場を閉鎖して、読売の坂出工場に印刷を委託。その代わりに、朝日の船橋工場で読売を刷るというものです。明日の朝刊に出る特ダネがわかってしまうわけですから、ひと昔前なら到底考えられませんが、紙面や販売で競争はするが、印刷、輸送など協調できるところは協調するということです。

3つ目のネットについては、日経新聞が昨年、電子新聞を出しました。朝日新聞も6月にスタートさせるという聞いています。日経では、電子版のコストは相当かかっているが、収支が合うには3年から5年かかるということです。電子版で稼ぐのはかなり厳しいと言わざるを得ません。読売新聞でも自社のネットサイトを持っていますが、有料情報でいかに収益につなげるか難問です。

東日本大震災では、記者が被災地のみなさんの中に入って思いを取材し、復旧、復興に向けて取材を続けています。紙面の反響も大きく、新聞の力を再認識いただいたことをありがたく思っています。新聞の役割はいくつかあると思います。世の中に提言するののも一つですが、現場で見た思いを正しく伝えるという大きな役目があると思います。そのためには新聞力をつけねばなりません。新聞はさらに力を磨いて、持てる力を結集していかなければならないと思います。

一方、権力のチェック、暴走を止めるという新聞の役割もあります。アメリカでのことですが、地方都市で経営難で地元の新聞が廃刊となりました。その途端、政治への関心が薄らぎ、投票率が下がり、腐敗も横行するようになったというのです。新聞よさようなら、腐敗よこんにちは。こんなことは何としてでも避けねばなりません。新聞の経営面の課題はいくつか申し上げましたが、新聞が絶滅危惧種とならないよう、わたしどもは英知を集めて挑戦してまいりたいと思います。今後とも新聞を、読売新聞とは申しませんが、末長く愛読いただくようお願い申し上げます。

(佐藤氏は6月21日付で、静岡第一テレビ取締役副社長に転任されました)

梅雨空にハモを食す

広報委員会

女子を中心にカンパニー



鰯（ハモ）。字は体をあらわすとすれば、どこが豊かなんだろうと考え込む。京の祇園祭のころの定番料理。夏バテを防ぐにはこれが一番といわれる。水揚げされた後、3日間は生きているという生命力の強い魚だそうだ。それで食べればパワーがつくということか。

6月の食べ歩き会は18日、鰯の本場・淡路島は洲本の料亭「菊水」だ。4年前にも企画され、大好評だったことからリクエストに答えて再びとなった次第。4年前の味を今でも覚えている面々から、その土産話をたっぷり聞いていて満を持していた初参加組まで計32人。今回は半数が女性で、華やかな会となった。

いつものように商都交通の貸切バスで梅田を出たが、あの1000円高速が翌19日の日曜でなくなるとあってか、道路はえらい混みよう。途中の見学立ち寄

りはパスして、一路「菊水」へ。生憎の雨に車窓の景色もけぶっていたが何のその。「梅雨時の鰯は格別」と野中民蔵・食べ歩き委員会委員長が言うように、景色より食気。

さて、到着。まずは鰯の湯びき。梅肉でいただく。これが本場の味か。肉厚で歯ごたえ十分。骨切りもしっかりとされていて満足、満足。いや、こんなもんで満足してはいかん。これは前菜。メインは鰯しゃぶだ。

お待ちかねの鰯しゃぶ。真ちゅうの鍋にだし汁がぐつぐつと煮え、淡路島特産の玉ねぎをバサッ、白菜をドカッ、豆腐に椎茸、エノキ、みつば、ごぼう、しらたきとポイポイ入れて、その野菜の間に鰯の切り身を泳がせる。「熱っ。オッサン何すんねん」と鰯が言うはずもないが、身がキュッと丸まった

らヒョイとつまんでパクッ。だしがよく効いていて、鰯は裏切らない。山椒をパラパラっとかけると味が増す。大皿を埋め尽くしていた切り身がまた一つ、また一つ。あれよあれよという間になくなった。

締めはおじや。これもいい味を出している。美味しい料理に美味しいお酒。地元の冷酒に熱燗が次から次へと空いて、あっちでワイワイ、こっちでペチャクチャ。ああよう食べた、よう飲んだ、ようしゃべった。余は満足じゃ。身も心もほんわか豊かになって、ああそうか、それで豊かな魚か。鰯よ、あんたは偉い！



語学人材ならインターへ

国際会議・通訳・翻訳・実践語学教育、
語学スペシャリスト派遣・紹介・機械翻訳、音声認識

【国際会議運営・通訳】

APEC首脳会合
日中韓外相会議
第16回アジア太平洋環境会議
G8先進国首脳会議（サミット）
G7財相・中央銀行総裁会議
国連軍縮会議 ほか

【人材派遣・紹介】

外資系金融会社
内外大手メーカー・特許事務所
官公庁・各種経済・工業団体 ほか

【語学教育】

外務省・経済産業省・厚生省
大手広告代理店・メーカー・大学・高校 ほか

大阪が生み育てた知的集団



株式会社 インターグループ
since 1966

代表取締役会長 小谷泰造（昭32年文）

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル
電話：06-6372-8048（代）・FAX：06-6372-8087

東京・名古屋・京都・広島・九州・仙台・金沢・上海

<http://www.intergroup.co.jp>

いろは歌について

田尾 秀寛(昭44年商)

いろはにほへと	色は匂へど	諸行無常 しよぎようむじょう
ちりぬるを	散りぬるを	
わかよたれそ	我が世誰ぞ	是生滅法 ぜしやうめつぽう
つねならむ	常ならむ	
うみのおくやま	有為の奥山	生滅滅已 しやうめつめつき
けふこえて	今日越えて	
あさきゆめみし	浅き夢見じ	涅槃寂静 ねはんじやくじやう
ゑひもせず	酔ひもせず	

いろは歌の作者について、真言宗では開祖弘法大師空海との説があり、文献的にも12世紀初頭までさかのぼることが出来る。大江匡房(1041~1111)の『江談』天仁2年(1109)8月の条に伊呂波が『弘法大師御作』と云われている旨の記事があることを14世紀につくられた『源氏物語』の注釈書の『河海抄』が引用している。しかし近年では、弘法大師空海(774~835)より百年以上後の成立であるとする説が定説である。

弘法大師作とされた条件は以下の通りであると考えられている。

- ①書道の面でいえば、空海は、橘逸勢、嵯峨天皇とともに三筆の一人である。
- ②仏教的な悟りの境地を暗示する内容で空海のような高僧に違いない。

③極端な用字上の制約のもとで、これほどすぐれた内容を巧みに読みこめる天才は空海以外に考えにくい。

④この誦文は真言宗系統では、学問的用途に使われており、それが世間に流布したものである。

「諸行無常」(諸行は無常なり)万物は常に変化し少しの間もとどまらない。

「是生滅法」(是れ生滅の法なり)あらゆるものは変転して尽きないもので、是が生滅の法である。

「生滅滅已」(生滅、滅しおわれば)生滅無常の現象界を超越して涅槃に入れば

「涅槃寂静」(涅槃、寂靜なり)煩悩を断じた悟りの世界は、心の静まった安らぎの境地である。

これは、「雪山偈」とか「諸行無常偈」とかいわれるもので、「涅槃経」に出てくる。その話とは――

「ある時、釈迦の前身である雪山童子は、山の中で苦しい修行をしていると

色は匂へど散りぬるを 我が世誰ぞ 常ならむと歌う声が、何処からともなく聞こえてきた。童子は驚き、是ぞ真理の言葉だと直感して、声の主を探すと、そこに恐ろしい羅刹(悪鬼)がいた。童子が、その続きを教えて欲しいと頼むと、羅刹は腹が空いているという。そこで童子は、続きを聞かせるなら、あなたに喰われてもよいと約束する。納得した羅刹が歌いはじめた。

有為の奥山今日越えて 浅き夢見じ 酔ひもせず

聞き終わるや童子は、微笑みながら、羅刹の口めがけて崖の上から身を躍らせた。すると羅刹の姿が忽然と消えて、童子の体はいささかも傷つけられることもなかった。」

昔の国語の教科書に「修行者と羅刹」という題で出ていたという。



今在りて～早稲田の「仲間」と共に

岡本 周三(昭57年社会学)

2009年11月23日
100代主将 斎藤佑樹君と
野球部第



まもなく汗が噴き出す暑い夏がやってくる。一昨年の夏、岡山へ単身赴任中の私に衝撃が走った。血尿が出て病院で検査を受け、医師から告げられたのは癌を発症しているとのことだった。自覚症状は全く無く、健康と体力だけでは絶対の自信があったので、「えっ。俺が癌？」との思いと同時に虚脱感があった。9月11日、岡山県津山市の津山中央病院で摘出手術。以後3か月に一度、再発・転移を見つけるための定期検査を受けなければならなくなり癌との闘いの日々が始まる。特に抗がん剤を投与するわけでもなく、治療は全く無いだけに毎日が不安であった。今まで仕事をはじめ、自己啓発や趣味に必死に打ち込んできたが、何をやるにも大丈夫だろうかという不安がつきまとい、思い切って取り組むということができなくなってしまった。「何か仲間と一緒にできるものを見つけない」・・・いつしかそう思うようになった。

そうこうしているうちに年が変わり昨年6月、私は3度目の癌の定期検査を転院した関西労災病院（兵庫県尼崎市）で受けた。特に自覚症状も無く「異常ないだろう」と思っていた。ところが、である。検査の結果、癌が再発していることがわかった。「なぜ？これほど健康に気をつけているのに。」・・・。7月13日、関西労災病院で2度目の摘出手術を受けた。医師からは術後であること、そして体力が低下していることから「絶対無理はしないように」との指示が出された。確かに体力はめっきり落ちていた。体力回復と共に何か打ち込めるものを見つけないと思った。

昨年11月、東京六大学野球の秋季リーグ戦は早慶による優勝決定戦となり、我等が早稲田野球部は慶應を10対5で破り優勝した。試合後のインタビューで

斎藤佑樹主将(現 日本ハムファイターズ)は「斎藤は『何か持ってる』と言われてきました。今日、何を持っているのかがわかりました。それは仲間です」と話した。「早稲田の仲間」、若き青春時代を早稲田の杜で過ごした方であればこの仲間という感覚は誰しもがわかるだろう。「自分に負けたくない！早稲田の仲間と何か一緒にやりたいし、それを通じて自らを高めたい！」、この思いが非常に強くなった。大阪早稲田倶楽部にも仲間がいたし、ホームページで色々な部会があるのも知っていた。私が長きに渡り打ち込んだものと言えば写真撮影だった。社会人になって間もなくの頃、お客様向けのPR誌の編集に携わったことがきっかけで私は写真を始めた。それから27年、私はスポーツが大好きだから仕事とは別にスポーツをテーマに数多くの写真を撮ってきた。最近ではスポーツのみならず風景や街のスナップ、人物写真など様々なジャンルで撮影をしている。「大阪早稲田倶楽部で倶楽部の会員の方と写真撮影を楽しめないだろうか」、そんな思いを胸に今年3月25日、大阪早稲田倶楽部に入会した。

今年年初から身体に倦怠感があってもほぼ毎日続けた服部緑地での早足ウォーキングの成果が出てだいぶ体力は回復してきた。又、仕事や自己啓発、趣味、早稲田の仲間との付き合いなど、無理はできないがベストを尽くそうという意欲が戻ってきた。

アメリカの実業家で詩人、教育者でもあったサミュエル・ウルマンの詩に「青春」がある、下記はその一節である。

「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を云う。薔薇の面差し、紅の唇、しなやかな手足ではなく、たくましい意志、ゆたかな想像力、燃える情熱をさす。青春とは人生の深い泉の清新さをいう。青春とは臆病さを退ける勇氣、安きにつく気持ちを振り捨てる冒険心を意味する。ときには20歳の青年よりも60歳の人に青春がある。年を重ねただけで人は老いない。理想を失うとき初めて老いる。」

私は52歳。大病を患ったが生きている。夢と誰にも負けない（と自分で勝手に思っているが）意志・想像力・情熱を持ってこれからの人生を生きていこうと思う。そして今、私の心の中は常に「青春」であり、「紺碧の空」のようなスカッとした心境である。

坐禅体験と精進料理に美酒

衣斐 訓(昭48年商)

座禅のあとは杯を傾け、楽しく朗らかに



4月24日の日曜日、経済部会と宝塚稲門会のジョイント企画で、曹洞宗「福蔵寺」(神戸市北区大沢町)での坐禅会に初参加致しました。2009年秋に大阪早稲田倶楽部に入会させていただき、2度のゴルフコンペと総会への参加のみで、スリーピングメンバーとなりかねないと思い、自宅からも近く、また高校生の頃、浜松の禅寺での3年間の坐禅経験のなつかしさでの参加となりました。

52年法学部卒の岡村住職も、参加17名ほぼ全員の興味が坐禅の後の精進料理とお酒にあることをご理解のうえでのご指導となりました。警策で何回か叩かれることも覚悟の上でしたが、それもなくホッとするとともに少し寂しくも感じました。特に私などは常日頃、邪念にまみれているので、1時間程の坐禅でした



が、爽やかな気分となりました。さて、肝心の精進料理ですが、裏山で採れた竹の子の木の芽あえ、湯葉豆腐、わらび、つくし等々どれも絶妙の味付けでとてもおいしくいただきました。近くで採れた赤かぶ等も、野菜本来の味が素晴らしかったです。

お酒は、灘の酒蔵・福寿の「荒しぼり」。大阪早稲田倶楽部と宝塚稲門会の特製のもの2種類が用意されました。微妙に味が違うらしいのですが、当日、私は都合で車での参加となり、その違いをお伝え出来ないことが残念です。男性メンバーも大いに手伝い(?)しましたが、女性軍の御世話には改めて感謝申し上げます。この参加費(3000円。お酒は別で男性1000円、女性500円)でこの内容は驚愕です。半日の経験でしたが、とても楽しかったです。ありがとうございました。



地元の野菜・山菜を使った精進料理

都心でくつろぐ安らぎのひととき。



日曜・祝日の貸切り パーティプラン

同窓会、趣味の会のほか、お客様
招待会、新作発表会などビジネスにも
お役立ていただけます。

お1人様 ¥6,000~
(50名~100名様)

お問合せは

☎(06)6316-1577・1590

メンバーズクラブ

関西文化サロン

大阪新阪急ホテル運営

阪急グランドビル19階



暑中お見舞い申し上げます



(株)愛知 代表取締役 愛知 摂祐 昭39年 商	株式会社 藤木工務店 顧問 大賀 浩輔 昭33年 建築	(株)小野工務所 代表取締役 小野 雄二郎 昭46年 文
税理士 安東 世顔 〒650-0004 神戸市中央区中山手通3丁目12-6 TEL.078(251)3700(代表) 昭35年 政経	大塚商事株式会社 代表取締役 大塚 征慈郎 昭38年 政経	太陽税理士法人 代表 ライオンズクラブ国際協会335B地区(大阪他) 元地区ガバナー (名誉顧問) 勝部 慶次 昭32年 商
株式会社 パステル 「駐車場のことなら何でも」 代表取締役 石戸 稔 昭55年 法 〒541-0059 大阪市中央区博労町4丁目7-3 船場アレックスビル7階 TEL.06(6253)8814 FAX.06(6253)8815	結婚相談所 CLASSY 無料相談をしています 大西 平一 平4年 政経 TEL.06(6131)5152 携帯 090(1676)0201 HP:http://koisurukekkon.net/ mail classy@sky.plala.or.jp	金子 昭治郎 昭25年 商
インテリアコーディネイト ISAMU 代表 稲部 勝博 〒543-0024 大阪市東成区東小橋1-1-15 TEL. 06(6973)7700 昭60年 商	昭和コンサルタント(株) 昭和ビルディング(株) 代表取締役 不動産鑑定士 尾下 千明 昭47年 法 TEL.0742(24)1303 FAX.0742(24)1306 携帯 090(8935)2438	元気が湧く写真づくり 釜我 昭 昭35年 法
弁護士法人 中央総合法律事務所 弁護士 岩城 本臣 昭44年 法 弁護士 加藤 幸江 昭44年 法 弁護士 森 真二 昭45年 法 〒530-0047 大阪市北区西天満2-10-2 幸田ビル11階 TEL 06(6365)8111 FAX 06(6365)8289	(株)サンコピーフロー 携帯サイト及びコンテンツ作成、運営、配信、携帯システム構築 代表取締役 公認会計士 尾田 雅夫 昭59年 商 尾田 沙智乎 昭52年 商 大阪・鳥取	弁護士法人 川原総合法律事務所 弁護士 川原 俊明 昭45年 法 〒530-0047大阪市北区西天満2-10-2 幸田ビル8階 TEL.06(6365)1065 FAX.06(6365)7265 http://www.e-bengo.com http://blog.goo.ne.jp/e-bengo/

京都：花見ウォーク&御所参観

時枝 奉之(昭45年院・理工研)

近衛邸跡のシダレザクラ



ためにクローンであり、一斉に花を咲かせた後に潔く散っていく特徴が日本人の性格に合致し、戦後の荒廃した国土に爆発的に植えられて増えました。

地下鉄丸太町駅に集合して御所に向かう。空には厚い雲があるが何とか雨は止んでいました。京都御苑に入るとまだ残っていた赤い桃の花が出迎えてくれた。その次は花期の終わりのハクモクレンの大木があり、根元に花卉が散って白い絨毯を敷いた様になっていました。御所の様子は昨年と同じでしたが東日本大震災に対する自粛で、雅楽の舞や華道家元の大きな生け花はありませんでした。近衛邸跡の一番大きなシダレザクラは、まだ4分咲き程度でしたが立派でした。

出町柳から賀茂川右岸を、堤防に植えられた満開のソメイヨシノを見ながら植物園に向かって歩きました。次に左岸のベニシダレザクラを見るために



満開の疎水の桜並木



4月はやはりお花見。4月9日(土)に春季一般公開の御所からスタートして、昨年とは逆コースで京都の桜の名所を巡ることにしました。朝は雨でしたが西から優勢な高気圧が張り出して来ており、午後は間違いなく晴れる予報なので決行した。参加者は20名で昨年の21名には及ばないものの、花見ウォークは人気があります。春先が低温だったので、4月9日でも昨年同様に満開の桜を楽しむことが出来ました。

お花見は奈良時代からの日本の伝統行事です。現在お花見といえばソメイヨシノが代表的ですが、ソメイヨシノは江戸時代末期に交配で作られた品種なので、それ以前はどうしていたのか調べてみました。奈良時代は中国から伝来したばかりの梅が愛でられましたが、平安時代以降は桜に変わっています。最初はヤマザクラでその後は園芸用に交配して作られたサトザクラ、現在はソメイヨシノが80%と言われています。ソメイヨシノは1本の木から接ぎ木で増やされて来た

北大路橋を渡る。昨年は満開で見事だったベニシダレザクラは、残念ながらまだ2~3分咲きでした。その代り人が少なく歩きやすい。植物園の広い芝生でソメイヨシノを眺めながら昼食。皆さんの希望は、予定より遅れているので宝が池に行くのは止めて、ショートカットして高野川に行きたいとのこと。

山口守さんより植物園から高野川へ行くのなら、疎水に沿ったルートが良いとの提案があり、そちらに歩を進める。疎水の両側にソメイヨシノが植えてあり、立派な桜並木になっています。桜だけよりも流れと桜の組み合わせは風情があって良い。人通りは少なく隠れた桜の名所です。楓も植えてあるので秋の紅葉も良いとのこと。

高野川はソメイヨシノの並木がある左岸を出町柳まで歩きました。本日は天候にも恵まれ、沢山の桜を満喫して出町柳着。懇親会はハママウで。喉を冷たいビールで潤して楽しく歓談。今年のお花見も首尾よく終了しました。

葛城山：ひと目百万本のツツジは・・

時枝 奉之(昭45年院・理工研)

新緑の5月はカタクリとツツジで有名な葛城山(960m)で、5月7日(土)に実施しました。ハイキングとしては新記録の21名にご参加いただき有難うございます。てくてくハイキングに一人でも多くの会員の皆様に参加して頂くため、初心者の方でも気楽に参加できる初級を設定してPRして来た効果が出ております。以前は毎回数名の参加でしたが、今年は1月以降の5回の参加者は平均15名と大幅に増えております。

葛城山に登って初めて知ったのですが、修験道の開祖である“役の行者”(本名：えん おづの役の小角)は御所市で生まれ、最初にこの葛城山で修行をしてその後、吉野山、大峰山を開いたとのこと。現在では修行は吉野や大峰で行われ、葛城山は頂上までロープウェイが設置され行楽の山となっています。

葛城山に登るルートは修行に使われた滝を通る綺麗な溪流沿いの登山道でしたが、2年前の台風で崩落したため代替ルートとして既存の登山道を整備した北尾根ルートは、眺望は良いのですがロープウェイの葛城登山口駅と無理やり繋いだために、稜線に出るまでがとんでもない急登になっています。

近鉄御所駅からバスで葛城登山口駅へ。4名はロープウェイを選択し、残りは稜線への急登に挑戦しました。ここで登り800mの半分を一気に稼ぐため、息が切れて、初参加で山歩きに慣れていない1名がダウンしたため、葛城登山口駅に戻ってロープウェイで頂上に向かってもらいました。急登を登り終わった眺望の良い場所で休憩。これから先は緩やかな登りなのでほっとして、眼下に広がる御所市の良い眺めを楽しみました。

修験道はサクラと関係があり、登山道にはヤマザクラの大木が多く、花の季節はきっと良い眺めでしょう。この稜線には可憐なカタクリの花が多いのですが、いくら探しても3日前の下見の時に咲いていた場所に花は無く、花期は終わったのかと心配になりました。ダイヤモンドトレールの近くまで来るとカタクリ



葛城山頂



頂上近くの階段。最後の頑張り。



の花が現れ、その後は沢山咲いていました。標高が高くなると気温が低いのでまだ花が残っており安心した次第。

頂上近くに最後の難関となる434段の階段が待ち受けています。幸い緩い傾斜の階段なので最後の元気を出して登り、ロープウェイで先着している5名と出会って全員無事頂上着。人数が多いので倶楽部の旗を広げて写真を撮りました。幸い黄砂がなくて眺望は良く、隣の金剛山から生駒山、北摂の山々及び六甲山まで見渡せて綺麗な景色が楽しめました。

有名なツツジを見に行ったら、広大なツツジ園ではまだ蕾が固く全然咲いていませんでした。山に多いコバノミツバツツジは満開を過ぎていると思っていたのですが、ここのツツジはヤマツツジで花期は5月下旬とのことで残念。

下りは全員がロープウェイを利用しました。索道の脇に植えられた満開の綺麗なシャクナゲを楽しみ、遠くに見える登路の北尾根を眺めながら葛城登山口駅着。今回の温泉は阿倍野橋まで戻って「あべの湯」で汗を流し、懇親会は17名が参加してアサヒビーカー・アベノで実施しました。

背筋伸ばして胸張って

小林 一則(昭55年政経)



各地からの応援支援に地元の人は感謝の思いでいっぱいだ(福島県伊達市で)

ぼんと100億円。ソフトバンクの孫正義氏が東日本大震災の義援金に投じた。さらに毎年役員報酬も全額寄付するという。ユニクロの柳井正氏と楽天の三木谷浩史氏はそれぞれ10億円。石川遼の賞金全額寄付にも目頭が熱くなる。最近とんとテレビでお見かけしない久米宏

は2億円でびっくり。稲門ながら語り調がきざっぽくて個人的には好きでなかったが、この2億円で免じて(?)久米嫌いを宗旨替えしました。額の多い少ないじゃないよ、気持ちの問題よと言うけれど、されどしかし。

「がんばらない」で名高い医師の鎌田實氏はチェルノブイリ原発事故の医療支援に長年携わっている。麒麟も陰ながら以前から支援を続けているので、鎌田氏はビールは麒麟と決めている。私もその意気に賛同して麒麟党だ。しかし、この度の震災でサントリーはビール・清涼飲料の1缶に1円を義援金に充てるといふ。年間約40億円。サントリーへの浮気もしてみよう。

サントリーに限らず、多くの企業が義援金や物資提供に尽力している。ロート製薬(大阪市生野区)は社内に「震災復興支援室」を新設した。役員報酬の10%を1年間返上して4000万円の活動資金を捻出し、社員6人を専従させて震災遺児の長期的な生活と勉学の支援にあたるという。ロートの回し者ではないが、目薬はこれからロートですね。

海外からのエールも胸を熱くする。日本人の誠実さ、品位を高く評価してくれたことは何より嬉し

い。クウェートは450億円分の原油を贈ってくれた。1991年の湾岸戦争では多額の資金協力をしながら日本の顔が見えないと批判されたが、クウェートは「日本の支援は今も将来も忘れない」。中国とは尖閣諸島の漁船衝突事件でぎくしゃくしたが、最大限の支援をしてくれ、胡錦濤国家主席が北京の日本大使館に自ら出向いて黙祷してくれたのも異例だ。

パプアニューギニアの山村では募金で30万円を送ってくれた。児童100人以上の年間教育費に相当する額だそうだが、感動した横浜市の71歳の男性は年金を工面して30万円を逆に現地の山村に届けた。「被災者に代わって恩返しします」と。



奈良県五條市の豆腐店「伊勢屋」でエール

奈良県五條市の豆腐店「伊勢屋」は店の前に「頑張ろう! 日本」の横断幕2本を掲げている。店主の西村富士男さん(61歳)は「岩手の知り合いが横断幕を作ってるんやが、仕事がないというんで頼んだんや」。こんな応援だってある。スーパーでの福島や茨城産の野菜市は人気だ。



被災地の食堂には「感謝」の看板がかけられている(福島県相馬市で)

わかってる人はわかってる。見てる人は見てる。だから背筋伸ばして胸張って。真っ直ぐ前を見つめて生きていこう。

あらゆる感傷を排して、今、できることを

～東日本大震災被災地を訪れて～

岸本 陽子(平10年文)

「支援に駆けつけてくれた米軍兵士の腕に「トモダチ作戦」のワッペンが



ゴールデンウィークを利用して仙台市の隣、多賀城市に赴いた。3日しか活動していない私に、語るべき資格があるかどうかはわからない。ただ、私なりに考えたことをお伝えできればと思う。

阪神大震災は地元で起きた惨事で、私自身若かったこともあり、被災者と接していてもどこか感傷的になり、自分の行為が純粋か偽善かということに悩みもした。しかし、今回、被災地の惨状をテレビで見たとき、居ても立ってもいられなくなった。

現地には、東北大OBや被災地に限定しない東北地方出身者、阪神大震災経験者をはじめ、多くの人が全国から集まっていた。連日参加している外国人もいた。休暇をフル活用して1週間の日程を組んでいる猛者もあり、今なお支援活動を継続中の人もいる。直前の報道で「ゴールデンウィーク中はボランティアが過剰である」と誤解した人もいたようで、「局地的に過剰である」と正しい情報が伝わるように報道関係者は十分に配慮してほしいと強く思った。

多賀城市は仙台湾に近く、津波の被害が大きかった。ここを選んだのは、宿泊が確保できること・個人で県外からのボランティアを受け入れてもらえること・活動先までの送迎がしてもらえること・そこまでの交通が確保されていることの4つの条件をクリアできたためである。

4月30日朝、仙台に入った。仙台周辺ではお洒落な女性も多く、日常を取り戻している人がいることに、まずほっとする。多賀城市災害ボランティアセンターにはすでに長蛇の列ができており、男性が目立った。被災者の要望に応じてグループを作り、被災者宅

の片づけに行く。津波により重油などで汚れた外壁の掃除、床下・駐車場の泥出し、庭の掃除などを行った。ボランティアは社会人が多かったが、中には学生もいた。単純な肉体労働とは言え、出会ってすぐに、仕事がかぶらないように配慮し、自発的に動ける頼もしい人ばかりで、お互いに気持ちよく作業できた。今の日本に、これだけ人のために動ける人がいる、その事実希望を感じた。

ガラスの破片が散乱するなど、危険を伴うため、作業時間は長くても4時間半で、できるこ

とは少ない。ただ、お手伝いしたお宅のご主人が「人様に迷惑をかけちゃいけないと思って、50日頑張ったんだけど、腰が立たなくなってしまった。今日で1か月分進んだ」と笑顔になった。その言葉を聞いたとき、自分の役割を正しく理解できたように思う。彼らの気持ちが少しでも前に進むなら、私達のささやかな作業に意義があると思い、吹っ切れた。同時に地震後に過ごした彼らの時間の重さと、復興への道のりの長さを痛感した。

普段運動をしていない私には3日間でも重労働だった。今なお、現地で圧倒的に人手が足りないのは実感しており、活動を終えて帰る際、後ろ髪を引かれる思いだった。これから梅雨を迎え、暑くなると、衛生状態が心配される。サラリーマンの私が、現地を再訪できるのは早くても夏休みになる。今後、継続的に何ができるかを考え、行動に移したい。

風の強い日には、ガラスの破片で道路がキラキラ光る。多賀城市に住んでいる人はこれでもずいぶん街は片付いたと言っていたが、港に近い地域では、個人宅にトラックの箱が刺さったままなど、シュールな光景に幾つも出くわした。改めて、今回の津波の猛威を感じさせられた。

奇しくも震災の8日後、震災後16年になる神戸を山の上から眺めた。あの頃、戦後の焼野原のようになってしまった神戸にも、今、隙間なく建物が建っている。神戸も復興に時間はかかったけれど、東北も同じように復興することを信じている。学生だった神戸の時とは違って、今回は、私も微力ながら、お手伝いできればと思っている。

「食べ物」あれこれ

片岡 隆(昭34年商)

「平成浪漫商店街」の異名を持つ「ひろめ市場」



「ひろめ市場」の「ひろめ」は、その昔、高知城の家老であった「ひろめ」という名前からつけられたものである。

高知では「うつぼ」という魚がよく食べられる。旬は寒い時期であるが、年中出回っており、酒の肴としては勿論、一般の食事でもよく食べられている。調理法は、カツオのタタキと同じ要領でタタキにしたり、から揚げにしたりするのが一般的だが、「煮こごり」にしても大変美味しい。煮込んで、煮汁ごと冷蔵庫に入れて置くと汁が固まって煮こごりが出来る。口に

高知と言えば酒とカツオを思い浮かべる人が多いと思う。

お酒好きで、ドイツ文学者でエッセイストの池内紀さんが其のエッセイの中で、お昼まだ陽の高い時間にタクシーの運転手に案内された店のノレンをくぐると、もう出来上がっている人もいて勧められるままに随分と飲んでしまったと描いている様に酒好きが多い。

高知城大手門の前の一角に「ひろめ市場」という飲食店、食材店など数多くの店が集まった集合建物があり、今や高知の名所になっている。朝の十時頃から夜の十時近くまで賑わっている。カツオのタタキも稲のわらを燃やして其の灰であぶり調理するというタタキ本来の調理法を実演し、食べさせてくれる。居酒屋もあり楽しめる。

入れるとその煮こごりが溶けて其の旨さが口中に充滿する。うつぼはゼラチン質が多く、コラーゲンも豊富で大変な健康食品でもある。高知では居酒屋の定番となっている。更に面白い調理法としてスナック風に仕上げることも出来る。魚をさばいて火にあぶり、適当なサイズに切って、鉄板焼きの要領で上から押さえつけ、センベイ風に仕上げ、好みの調味料で食べれば良い。

四万十川の清流に代表される川魚、あゆ、うなぎの美味しさは言うに及ばずだが、見逃されている川の幸に「ツガニ（もくすがに）」がある。ツガニはあの中国の人々が目の色を変える美味しい上海蟹と同じ種類で、その美味しさは上海蟹と全く変わらない。通の味と言われている。旬は秋、少し寒くなりかけた頃である。



北浜法律事務所

KITAHAMA PARTNERS

弁護士 森本 宏 (昭和60年法)

<http://www.kitahama.or.jp>

□北浜法律事務所・外国法共同事業

〒541-0041 大阪市中央区北浜1-8-16大阪証券取引所ビル

TEL.06-6202-1088(代) FAX.06-6202-1080

□弁護士法人北浜法律事務所東京事務所

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12サピアタワー14F

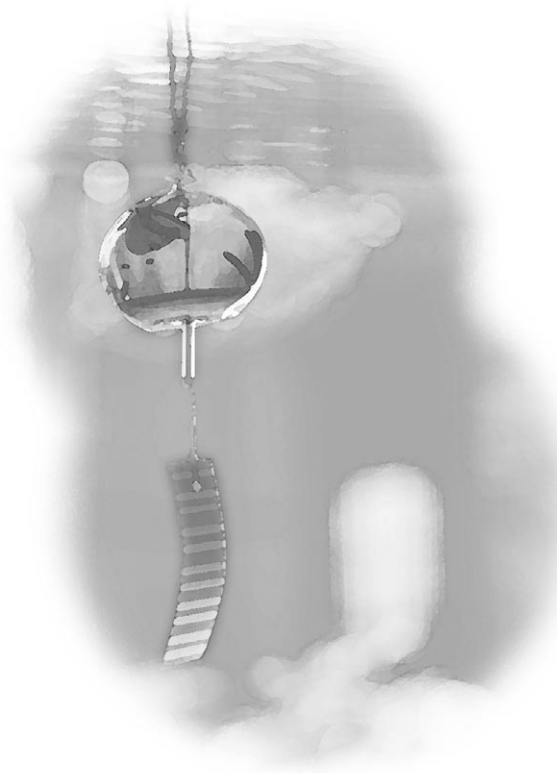
TEL.03-5219-5151(代) FAX.03-5219-5155

□弁護士法人北浜法律事務所福岡事務所

〒812-0018 福岡市博多区住吉1-2-25キャナルシティビジネスセンタービル4F

TEL.092-263-9990(代) FAX.092-263-9991

暑中お見舞い申し上げます



ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド

代表取締役社長

関 寛 之

www.l-s.jp seki@l-s.jp

平8年 理工建築

東寺真言宗 大僧都
四国八十八ヶ所霊場会 公認先達
西国三十三所札所会 公認先達

田 尾 秀 寛

090(2351)3927

mail tao6637h@m5.kcn.ne.jp

昭44年 商

早稲田大学商議員

校友会大阪府支部顧問

高 野 泰 明

昭29年 法

産経学園講師
旧街道研究家

北 原 仁 巳

昭36年 法

読売新聞大阪本社

小 林 一 則

koba5128@yomiuri.com

昭55年 政経

一級建築士事務所 オフィスTAP
大阪府知事登録(イ)第22133号

代 表

竹 島 儀 親

TEL&FAX.06(6311)5020 携帯080(1152)9028

mail officetap@mx5.canvas.ne.jp

昭39年 理工 建築

司会・ナレーション・ヴォーカル

小 泉 じゅん子

TEL.090(8799)5011

mail junko_k_0807@ybb.ne.jp

昭47年 文

不動産鑑定士

齋 藤 誠

齋藤不動産鑑定事務所 代表

〒662-0044 兵庫県西宮市平松町5-26-302

TEL 0798(32)0851 携帯 090-7483-1292

E-mail:m-sait@max.hi-ho.ne.jp

平5年 商

平成金属株式会社

代表取締役社長

竹 田 雅 幸

TEL&FAX.06(6848)1315

mail heisei@mte.biglobe.ne.jp

昭47年 商

株式会社全国不動産鑑定士ネットワーク(AREAN)グループ
株式会社財産プランニング研究所
代表取締役

熊 澤 一 郎

不動産鑑定士・土地区画整理士・不動産カウンセラー

TEL.06(6229)0050 FAX.06(6229)0051

昭51年 商

FOOD COORDINATOR
SUCRE TIRER シュークル・ティレ

佐 藤 恵 津 子

URL:http://www.sucreretirer.com

E-mail:cscscs@mx5.canvas.ne.jp

TEL&FAX 06(6353)6533 Mobile:090-3273-9614

〒530-0041大阪府北区天神橋2-5-22 佐藤ビル1F

株式会社 宝文社

代表取締役

田 中 啓 一 朗

〒530-0043 大阪市北区天満4-2-3

TEL.06(6352)0456 www.hobunsha.co.jp

mail kei.hob@hobunsha.co.jp

昭55年 社会科学

株式会社インターグループ 代表取締役会長
大阪商工会議所常議員
アジア太平洋機械翻訳協会副会長

小 谷 泰 造

昭32年 文

阪急阪神ホールディングス株式会社

代表取締役社長

角 和 夫

昭48年 政経

1913年 大正2年創業 田中建設(株)

取締役会長

田 中 宏

昭33年 文

俳句会一年の歩み (第492回～第494回)

四月句会 2010年4月20日

兼題：花見、蝌蚪、長閑

群れながら蝌蚪めいめいの向きにをり
大枝垂桜を慕ふ舞妓かな

浩一郎

散りて尚花の風情を失はず
木津川に沿ひて拵し花むしろ

城 洋

櫂削り網繕ひて浜のどか
子ら騒ぎ覗く馬穴に蝌蚪ひとつ

こうじ

一木に峰の札所の花明り
阿字池の濁りにゆるぶ蝌蚪の紐

傀 舟

数珠のごと連なってをり桃の花
控えめに春を告げおりスノーフレーク

巖 風

人力車花の客乗せ風を連れ
疏水道辿りて花の東山

こうき

さわさわと風そよぎたり竹の秋
若芝の日一日と濃さを増す

けんじ

切株の往時を偲ぶ花見かな
青い目の人も河原で花の宴

洛 童

山若葉三輪山隠す雲もなく
夕飼待つ欠伸殺して日永哉

大 地

長閑さや垣根ごしなる立ち話
酔ひざまのよき人ばかり花の宴

治

花見時城趾にねむるもの覚ます
仲間良し一人も又良し桜狩

富美子

数珠子生るみ寺に座す九体佛
宸殿の上げ諦して桜花

喜 代

長閑なる海のみちひき飽きもせず
見る人に幸へだてなく花の下

京 子

長閑さよりユック背負ひて野辺の花
おたまじゃくし習はず泳ぐ小川かな

聖 子

花に酔ひ人に酔ひつゝ歩を進め
煩はしこと無き日々ののどけしや

廣 子

貸しボート塗り替へられて水温む
大川はビル裏も見え花見船

青 城

五月句会 2010年5月23日

— 深草石峰寺吟行 — 兼題：囁目

散り残る都忘れを忘れめや
竹落葉雨に羅漢の寝ころがり

浩一郎

濡れそぼつ都忘れの石峰寺
青梅を一つ拾ひし雨の磴

城 洋

千本の鳥居潜りて薄暑かな
お稲荷さん土産団扇も狛狐

こうじ

堂縁に夏座蒲団の積まれあり
明か明かと内陣の灯や夏の宮

傀 舟

夏めきて御神楽の舞のびやかに
若葉雨羅漢の顔に友の面

いっこう

桧皮葺き反りて常磐木落葉かな
異言葉の多き境内若葉雨

こうき

若沖の庵の跡や夏の雨
禪寺のクルスの墓に竹落葉

洛 童

朱の宮の朱に誘はれて花うばら
夏来る巫女の琴の音すきとおる

富美子

青梅の落つるにまかせ寺の磴
衣脱ぐ若竹のもと羅漢さま

喜 代

山門に梅の実ころがる石峰寺
雨垂れを受けし黄しょうぶ色映えし

京 子

朱の鳥居卯月の雨の浄めけり
花菖蒲重たき雨に打たれけり

廣 子

若葉風千の鳥居を抜けて来し
出山の釈迦も濡るるや若葉雨

青 城



六月句会 2010年6月15日

兼題：短夜、風薫る、徴

一切のばけを封じて徴の寺
千年の杉薫風を抽んで

浩一郎

短夜は酌みて明かさん亡き友と
土の香を残して去りぬ大夕立

城 洋

薫風や髪靡かせて女子陸上
徴の香や本山積の棚整理

こうじ

風薫る平城宮址鵲尾まぶし
徴の家の明治天皇御真影

傀 舟

はやぶさ号薫風の星へ大生還
薫風や被造物なる贅美とて

巖 風

徴の香に赤マークある英和辞書
風薫るクレーンの動く城下町

いっこう

明易の閉め忘れたる雨戸かな
徴靴やししばし帰らぬ子の如何に

こうき

万緑や赤きゴンドラゆったりと
四万十の鮎ほのかなり藻のかをり

けんじ

四年間徴と暮せし四畳半
ふる里の瓊花も散りて鑑真忌

洛 童

短夜の時を惜しみて旧き友
苔ぬれて数片落ちし夏椿

大 地

風薫る武庫の河原の草野球
明易の空つんざきし呱々の声

治

薫風や乳匂ふ子を抱き上げて
短夜や夢のつゞきを二度寝して

富美子

風薫る六甲行きのシャトルバス
捨て難き本をはたけば徴煙

喜 代

形見分徴のにはひのあたたかさ
短夜や身の上話し終らなく

京 子

風薫る風にも色のあるごとく
押し花を一心不乱明易し

廣 子

ここですと案内されたる徴の宿
拵へも凜々しき稚児や竹伐会

青 城

俳句会一年の歩み (第495回～第497回)

七月句会 2010年7月20日

兼題：川床、心太、金魚

稚児一閃すれば祇園会動き出す
豆千代といふが隣の川床にをり
浩一郎

青空に我独り立つ大夏木
豪雨去りやがて湧立つ蟬時雨
城 洋

手を伸ばし流れ掴むや川床涼み
黒蜜にぷるんと泳ぐ心太
こうじ

真っ向に山黒黒と川床灯る
今生を門前町の金魚売
傀 舟

まどろむや金魚ええ金魚遠きから
梅雨明けて水平線まで青や青
巖 風

風鈴やひびきて涼し屋の路地
眠るのみの赤子の部屋に金魚鉢
いっこう

峰高く夏霧立ちぬ梓川
留守居して夕餉につなぐ心太
こうき

右左三度潜りし茅の輪かな
打水に誘ひさそはる先斗町
洛 童

屋八ツの金魚売る声遠くより
日の高くビール飲み出す床涼み
大 地

川床に背を向けて水際の二人かな
掬ひ来し金魚泳がす古火鉢
治

提灯に灯を入れている川床涼み
心太浪速ことばの気安うて
富美子

白服の似合ふあなたの側にある
川床料理青き楓を敷きて出す
喜 代

せせらぎて水の香匂う川床料理
峠茶屋心太あり書かれをり
京 子

動かなくなった金魚をいたむエゴ
日焼け顔海水浴に若き頃
聖 子

海の香に寄り添ふごとく花海桐
片白草目立たぬ花に目立てる葉
廣 子

川風に水音と灯が揺るる川床
年忌終へどうぞと出さる心太
青 城

八月句会 2010年8月24日

兼題：孟蘭盆会、稲妻、西瓜

大西瓜孕むごとくに抱へ来る
吾がほかは参る人なき墓ひとつ
浩一郎

野辺の墓守りて白き曼珠沙華
夕月夜神鎮もれる三輪の山
城 洋

草千里野末遙かに稲光
孟蘭盆の供物野鳥の馳走かな
こうじ

遠ざかる面影追ひつ墓洗ふ
その頃の盥の西瓜なつかしき
傀 舟

真っ二つ西瓜にいのち躍動し
真清水に暫し蘇生を覚えたり
巖 風

孟蘭盆や先祖と共に昼寝する
手を合わす波の上なる川施餓鬼
いっこう

朝顔の垣を伝うてミレドファソ
はにかみて若き盆僧声高し
こうき

さやさやと風になびきし稲の花
秋立ちてそこはかたなく風澄みし
けんじ

年寄も子供となりて地藏盆
物言ふもてにをは省く残暑かな
洛 童

みちのくの闇の中なる盆供養
寝付く夜も寝覚めの朝も虫の宿
大 地

二つ三つ叩かれ西瓜売られけり
精霊のおはす気配や葎穀焚く
治

まだしゃくりあげてゐる子に西瓜切る
稲光いつきに谷へすべり落つ
富美子

下駄履きの人の下げ来る西瓜かな
盆花の誰参りしかあたらしき
喜 代

生き様を語り継がれる孟蘭盆会
蛸のシャワーを浴びて奥の院
京 子

流れ雲影さすひと時残暑かな
稲妻と刻々めぐる地球かな
聖 子

孟蘭盆会灯りの海の奈良のまち
静けさの日々懐かしき盆祭
廣 子

百日紅大樹の蔭に六地藏
西域の市西瓜売る子ら笑顔
青 城

九月句会 2010年9月21日

兼題：夜長、露、コスモス

笹の露発止と光返しけり
消してまたひとつもすよりの夜長かな
浩一郎

高原の夜のしじまに霧流る
カリヨンの野にコスモスの花模様
城 洋

山頂へ続くコスモス風の道
由布岳や霧の中から涌きあがり
こうじ

歩きても立ち止りても草の露
巡礼の露あたらしき山に入る
傀 舟

書を閉ぢて緑茶和菓子の夜長かな
老母待つコスモスゆれる里の駅
いっこう

長き夜やすることなきを楽しみぬ
忘れいし人思ひ出す夜長かな
こうき

蟬螂が蛾を捕へて跡もなし
秋の夜やこけら落としの艶婆
けんじ

丹波路や昼餉の箸に赤とんぼ
朝立の山路にかかる露時雨
洛 童

朝露に苔瑞々し詩仙堂
北はもう色とりどりの秋桜
大 地

海峡も阿波も淡路も霧の下
テレビにも飽きて夜長のしじまかな
治

風誘ふ一花挿し添ふ秋桜
夜長の灯消して迷ひをふっきりぬ
富美子

レクイエム歌ひ切りたり露万朶
揺れ揺れる私の心もコスモスも
喜 代

朝霧や馬のいななき遠くあり
朝立ちを浚巡させる由布の里
京 子

大都市のビルの灯無数残暑かな
露の世にあわてふためきたじろぎつ
聖 子

コスモスの方に咲き揺れ休耕田
秋の蝶風の透き間を待ってをり
廣 子

コスモスをおしゃれに飾る喫茶店
来客の帰りてからの夜長かな
青 城

俳句会一年の歩み (第498回～第500回)

十月句会 2010年10月19日

兼題：菊、案山子、や、寒

やや寒の旅の湖北や雨の添ひ
雀とも仲良く案山子世を渡る
浩 一郎

一株を整へ終へし菊師の眼
やや寒の襟元合はせ直しけり
城 洋

秋寒を一夜に運ぶ嵐かな
葉も茎も枯れて浅菊咲かせけり
こ う じ

菊の香や勝ち戦なき城ながら
案山子立つペットボトルを両の手に
傀 舟

務め終へ畦道ふさぐ案山子かな
紫のその薄さよし野紺菊
巖 風

在るままに置きし庭菊咲きはじむ
口過ぎの一助にせむと秋耕す
こ う き

菊の宿三代そろひ声はづむ
深夜まで娘待つ居間夜寒かな
いっこう

泡の音聴きつつ飲みぬ新走り
秋高し長き尾をひく飛行雲
けんじ

山の辺に芭蕉句碑あり柿日和
棚田にはそれなりの藁塚据ゑらるる
洛 童

朝寒や頬に手挙ぐる弥勒仏
白白と信濃の朝の冬初め
大 地

容赦なく牛の踏みゆく野菊かな
やや寒に独り留守居の茶碗酒
治

歩き初む子の土踏まず菊日和
父の忌や好物捧ぐ菊の酒
富美子

菊の香をなぜか寂しき香と思ふ
大梨を食うぶ今宵は四分の一
喜 代

やや寒し山に変化は一歩づつ
大和路の風を読んでる案山子かな
京 子

秋深し若返りたくマクド店
露地の鉢彼岸花なり触れてみる
聖 子

悠久の時を零るや木の实落つ
秋晴の鴻穂やかに真っ平ら
廣 子

踏み迷ふ獣道なる水引草
茸番煙管を腰に居眠れる
青 城

十一月句会 2010年11月21日

— 春日野吟行 — 兼題：蜀目

窓際に柿干してある書齋かな
お砂踏む縁切りさんの小春かな
浩 一郎

散り残る桜紅葉に射す日かな
石路の黄に舞ふ胡蝶あり黄なる影
城 洋

冬ざれの葉壺小さき香葉師
社家町の塀の崩れや柿落葉
傀 舟

塔頭や歴史重ねて冬日和
炉開に実篤も来たか直哉邸
いっこう

そこだけに集る蛇や花八手
石路の花直哉旧居の庭小径
こ う き

白毫寺緋寒桜に西日射す
新葉師おんころころや散紅葉
けんじ

小春日や鹿も待ちたる交差点
半眠に座る雄鹿や小六月
洛 童

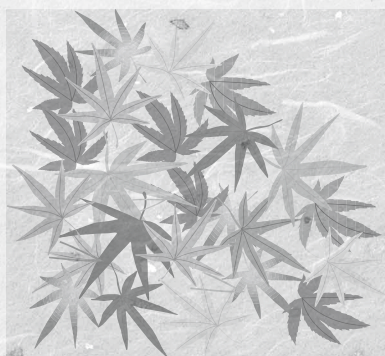
朝寒や怒髪天衝く伐折羅神
落ち葉降り薪能址埋めけり
大 地

玄関へ紅葉散らせて迎ふ邸
集合写真ちょっと斜めに冬帽子
喜 代

石路の花古き無患子志賀旧居
石だたみ五色の落葉志賀旧居
京 子

志賀邸の子沢山なり石路の花
冬日射す古代の森の洞なり
廣 子

飛火野に人影のなく冬日和
冬晴や頭塔の三尊笑ひけり
青 城



十二月句会 2010年12月7日

兼題：年末、枯木、牡蠣

ことのみな些事となりゆく日向ぼこ
余生とはけして思はず日向ぼこ
浩 一郎

枯蔦に縋め取られし小窓かな
冬霞瀬戸の島影へだてけり
城 洋

風に立ちガラシャの像の聖夜待つ
極月や友献体を果たされし
傀 舟

列車ゆれ毛糸編むひと手休めぬ
息白き口論ありぬとも白髪
いっこう

急くことも急かるることもなき師走
冬枯は涅槃の姿静心
こ う き

初霜のグランドゴルフ陽が昇る
牡蠣殻を素早く捌く技の冴え
倚 偶

ふうふうと老いのふたりの生姜酒
師走やな錦市場に声躍る
けんじ

冬蕎比叡を拝む比良越しに
背を伸ばしなほ背伸びして枯椿
洛 童

中之島エルイーディーのクリスマス
客絶えし路地裏奥の師走哉
大 地

みまかりし友の席あり年忘れ
上げ潮に牡蛎船ゆらと揺れにけり
治

とぎ汁の白き濁りも十二月
裸木に青き電飾かけのぼる
喜 代

柵の花垣をへだて話しこむ
枯木下絵柄のごとく落葉かな
京 子

図書館へ行く道の今日冬日和
年末やともあれ今日のそうじする
聖 子

街並のすっきり見えし枯木立
山頂の一足早き冬木立
廣 子

枯木立梢に星を宿し立つ
葉が落ちて改めて知る大銀杏
青 城

俳句会一年の歩み (第501回～第503回)

一月句会 2011年1月18日

兼題：新年（一切）、寒（一切）

なまけろし報せも添へて寒見舞
二上をひたと閉ざして寒の雨
浩 一郎

黒土の色を集めし寒牡丹
淡雪の舞ひては消えし野天の湯
城 洋

元旦やボトルの栓をボンと抜き
電話する声改まる年賀かな
こう じ

正月や若者独りボール蹴る
葉牡丹の渦の色増す日のぬくみ
傀 舟

髭剃りて少し太りし初鏡
無口なる米寿の叔父と年酒酌む
いっこう

新春の箱根駆け抜け我母校
織り出だす丹後縮緬細雪
こう き

初泳ぎ飛沫あげて魚心
初恵比須笹持て歩く善男子
倚 偶

小寒や雨降りしきるキックオフ
大晦日しまなみっ走りバツハ聴く
けん じ

聖護院托鉢出づる寒の入
数入りや十石船の船溜り
洛 童

田遊や所所に残り雪
深深と道また墓に雪積もり
大 地

寒風にうしろ歩きの子供かな
福笹の枝も折れよと縁起物
治

七草の色と香りの粥たぎる
片言もしぐさもふえて年明くる
富美子

床本を押し拝みして初芝居
手作りの凧がこんなに揚がるとは
喜 代

ろう梅のはのかなれども部屋中に
一夜にて神聖なりし雪化粧
京 子

新春や日差し微笑むかのごとく
もの言わず息づく木々の寒さかな
聖 子

採りたて野の香煙の香なずな粥
寒鴨の寄り添ふてみな首疎め
廣 子

初風の入江見下ろす杣の家
寒灯のもと猫ふり返り一鳴きす
青 城

二月句会 2011年2月15日

兼題：早春、残雪、いぬふぐり

残雪や果せぬ古き約ひとつ
面影や早春の野を風渡り
浩 一郎

思はざる景色となりし春の雪
淡渡る風の運びし初音かな
城 洋

山壁の残雪数條空に伸び
犬ふぐり犬がおしっこ掛けて行き
こう じ

この道を行くか戻るかいぬふぐり
海峡に早春の潮ひしめきつ
傀 舟

淡雪の瞬時の生命朝日受く
残雪に抱かる大地や目覚近し
巖 風

願ひごと絵馬に描きて春立ちぬ
鬼は内九鬼の城下に春立ちぬ
いっこう

稜線の木々は疎らに残る雪
アルプスの麓の里や早春賦
こう き

いぬふぐり昨夜の雪も粘り腰
残る雪隠れ光りし落零れ
倚 偶

中天に満月築地に春の猫
さよりほど腹は黒くはないですよ
けん じ

誰も皆胸に残雪抱へをり
寒明けの背筋伸びたる散歩かな
洛 童

亡き君の子は頼もしき雪の通夜
朝市の軒先ごとに日陰雪
大 地

残雪を茜に染めて暮れにけり
鮎釣りの尻に敷かれしいぬふぐり
治

犬ふぐり踏んで止まって紐電車
早春の譜を広げゆく流れかな
富美子

春節や湯気の饅頭はふはふと
近道をゆく畦あれば犬ふぐり
喜 代

残雪を踏んで行脚の道遠し
孤独ではないと瑠璃色犬ふぐり
京 子

見られても見られなくてもいぬふぐり
春めいて川沿バスの軽やかさ
聖 子

ぴんと張る残る寒さの夜半かな
早春の蕾も堅き庭の木々
廣 子

残雪や干柿二ツ日だまりに
ふくらまん早春の梅きそい合い
隆

木戸閉ざす黄なる春月仰ぎつつ
春浅き光のなかに水車小屋
青 城

三月句会 2011年3月15日

兼題：啓蟄、蒲公英、霞

二上やはるけきこともまた霞み
青丹よし平城宮址草霞む
浩 一郎

北窓を開きて心を新たにす
下萌ゆる大地の息吹き野に充てる
城 洋

鋤を打つ農夫の姿春霞
啓蟄や畑を往き来る耕耘機
こう じ

神々のその座鎮めて山霞む
春涛の地の底からを憎しめり
傀 舟

寝ころんでタンポポ飛ばした人想う
啓蟄や宇宙に土を運んだら
隆

食堂を覗いて笑顔卒業す
松島や未曾有の津波春遠し
いっこう

この国の行方を隠す霞かな
山の端を隠して繋ぐ遠霞
こう き

朝霞太極拳の呼吸かな
今日の日を愉しく生きるたんぽぽお
倚 偶

初雛やはいはいする児齒一本
睨みつく熱き目刺しを頭から
けん じ

蒲公英の絮の楽しむ草競馬
洛中図描き出したる棚霞
洛 童

朝霞今朝も早立ち熊野宿
嫁ぐ春半分でいい幸せなど
大 地

たんぽぽの絮を吹き吹き帰りけり
海峡の船も汽笛も霞みたり
治

たんぽぽやそこに石ありひと休み
山羊鳴くはいづこぞ裾野春霞
富美子

飛火野の丘の起状や草霞む
天地によるこぶもの芽出でしかな
喜 代

ふらここに風はやさしく囁きぬ
夫好きな土筆ありたる夕餉かな
京 子

たんぽぽの輝く頃となりにけり
木の芽どき木々のあいさつここかしこ
聖 子

啓蟄の雨しとしとと地を弛め
和泉野の野に漂ひし薄霞
廣 子

別離てふ花言葉なり蒲公英は
霞む野に三階菱の蔵屋敷
青 城

小さな日中親善？

特別賛助会員 林 仁

高層ビルも建ち並ぶ青島



勤務先の上司から、プライベートで夏休みに中国・山東省と北京に行かないか、とお誘いを受けた。中国ビジネスの世話になっている、神戸在住で青島出身の中国人女史、RSさん（40ウン歳）が同行してお世話下さるとのこと。上司夫妻と倅との5人で、昨年8月10日～14日の5日間の旅をした。これはそのうちの青島市での記録である。

青島2日目。旧市街地からフェリーに乗り、「経済開発区」にある彼女の会社を訪ねた。開発区というのは、古くは「改革開放政策」に則ってつくられ、現在20余りあるが、なかでも経済開発区は大いに発展し、トップクラスにランクされているそうだ。海に面し、大規模な造船所が多数あるほか、渤海、黄海を挟んで対岸の遼東半島や韓国にも近いことで、海運・空路とも中国東部の要衝とされているからであろうか。

事実、韓国・仁川からは空路1時間余りで着くのである。そんな地の利があり、広大な市域を持ち、人口720万だということだから、労働力の供給地としても何の不足もないであろう。日本人も企業の駐在を含め、常時3500人くらいは居住しているそうである。

旧市街から開発区へ渡るフェリーは、標示にやたら日本語があると思ったら、明石海峡大橋開通で退役した「蛸フェリー」であると教えられた。薄汚れて船体を震わせながら現役で活躍している。トイレの臭いが風向きで鼻についたが、何か悪い感じはしなかった。

車はほぼ満杯で出航。乗船45分。途中、巨大な造

船所群を眺めて到着したが、その造船所が半分ぐらい真新しい。聞くと、もとは投宿ホテル周辺の、地中海かと見間違ふような中心街のハーバー地区にあったそうだが、2008年のオリンピック時に「ボート」と「ヨット」競技の会場にするため、美観上(?) そっくり開発区地区に移転したそうである。土地の広い中国と体制の所以であろうか。

開発区は、目の覚めるような緑地帯、整然と並ぶ新しいアパート群や民家、広い道路が整備されており、北京などのように、空気が淀み道路が常に埃っぽいイメージ

とは程遠く、掃除を仕事にされているような人を何度も見かけた。概して全てにゆったりと区画され、とてつもなく広い点を除けば、空気も綺麗で日本に近いイメージである。

昼食のレストラン。1階で食材をチョイスするのであるが、見たこともない魚にワタリガニなどなど。水



緑も多い青島の街並み

槽には丸々と太った食用ガエルが浮かんでいる。また、鳩の料理したもの、カブトムシの幼虫のようなサナギ、あひるの頭部がズラリと大皿に並んでいて…。いざ食事になるとキャベツを刻んで盛り付けた上に、何と「サソリ」の空揚げが。誰かが選んでくださったらしい。怯んだが、みなさん珍しそうに召し上がっておられる。盛んに薦められ、一番小さなものを2匹。さすがに針のある尾の部分は残した。沢ガニの空揚げの感じと言われたが、いずれにしても味を感じるゆとりもなく、キャベツのかたまりと一緒に涙を隠し、喉に流し込んだ。

＜人材派遣業＞

R女史の会社を訪問した。社員は7～8名。我々は微小ながら中国の金網や線材の買い付けを依頼しており、加えて業界に明るく彼女の広い人脈を通じての情報収集も。一方、この会社の本業の一つは、中国人の海外人材派遣業である。研修に協力し、出国用のパスポート、就労ビザの申請、関係公証書類の作成、健康診断、防疫注射等の諸手続きを行っている。もう1点は、研修生への外国語教育、専門技術の強化トレーニングの実施等。主に日本向けで、3年間の滞在中、研修生の物心両面の管理に責任を持って当たることである。なれない異国で、精神的に行き詰まったり、ホームシックになったり、若くても稀に病気をする人が出たり、仲間同士で内輪揉めしたり etc・・・。そんなことに彼女は誠意をもって対処されているようである。10年も続いていることが、何よりもその証左であろう。中には所帯持ちの女性もいて、研修期間の3年が終わり、大部分の人がかなりの「万元戸（お金もち）」になって帰国するようである。

以上のようなことを、カタログを見ながら聞いていると、日本語が盛んに聞こえてくる。何か？と聞いてみると、9月10月に日本に出発する研修生への「日本語」の時間だという。見学させてくれと申し出ると「どうぞ、どうぞ」と快諾された。

2クラスの内の一つに入らせていただいた。20名余り。男性が一人あとは全てうら若き女性ばかり。先生に「何か話して下さい」と言われ、「日本語しか話せない」と伝え、「この時間は一切中国語禁止ですから安心して下さい」と笑いながら。なのに「我是日本来了」と下手な中国語で口走ってしまった。

男性に何の研修に行くのかを尋ねた。「進んだ日本の農業の研修です」とはっきりと。彼が異国の人なのに、15年くらい前に兼業農家を辞めた私には、とても頼もしく輝いて見え、嬉しくなった。そしてその時に気付いた。全ての研修生の目が、幼児が興味ある時に見せる「目」であり、小学校低学年の子たちの澄んだ純粋な「目」である。その「目」の刺すような視線で私を見てくれるのである。そこで「たじたじ」となった。最近国内では感じない本気の視線である。

先に倅を入れて喋らせた。「你好！」と言うと合唱で「你好！」と返った。「罰金を頂きます」と倅。「何故？」と意味の分からなかった研修生は、先生の「今は日本語の時間で、禁止の中国語を話したからだ」に大うけした。

「何か質問がありますか？」と尋ねてもシャイなのか、なかなか手を挙げてくれない。仕方なく「日本で何を学びたいですか？」「何故日本を研修先に選んだんですか？」と質問した。押し並べて「日本が憧れの国」だとか、「アニメを一杯見たい」とかの意見が多かった。



日本語を勉強中の中国の研修生。
いきいきとしていた。

すると一人の女性が、「日本人の礼儀正しく親切な心と、進んだ技術を学びたいです」と発言。これには答えに窮した。当時3歳と1歳の兄弟が、母親に見放され、餓死していたニュースがあったばかり。その上、幼児虐待等よくないことを瞬間沢山思い出して、どう言おうか困った。

「行かれて良いことがあるかもしれない、でもそうでない現実も一杯目にされたり聞かれたりするかもしれない。でも、それが行かれる日本の現実です。どうか、限られた期間精一杯頑張られ、日本を楽しんでください」と伝えた。

余談であるが、私も倅も年を10歳若く見てもらった。それもこれも含め当地に来て、交歓出来る幸せをしみじみと感じた。後日、R女史に尋ねた。その彼女たちは来日し、徳島県を中心に研修生という名のもとに働いているということである。日本人の雇用機会が奪われている現実、でも必ず需要と供給の原則がある筈である。異国での彼女、彼等の健康と無事を祈らずにはおれなかった。

新しい部会に歌声サロンと写真部

※ 倶楽部の部会に新たに歌声サロンと写真部が加まりました ※

アコーディオン伴奏の杉村寿治さん



【歌声サロン】

歌い続けて後世に残していきたい童謡・唱歌を始め、懐かしのメロディーや、時には今話題の曲も取り入れながら、みんなで歌っています。

全関西アコーディオン協会会長であり、NHK 文化センター講師をはじめ、多方面にご活躍中の杉村寿治さん(倶楽部特別賛助会員)のアコーディオン伴奏で、小泉じゅん子さんが曲にまつわるトークを織り交ぜながらソングリーダーを務めています。ぜひ、皆様お出かけ下さい。お待ちしております。みんなで大きな声で歌いましょう！カラオケで歌うのとは違う喜びを味わって頂けると思います。

※部会長 小泉じゅん子(昭47年文)



「みんなで歌う 歌声サロン in シーファー」

奇数月の第2火曜、午後3時半～5時半 次回は9月13日(火)です。

場所は、阪急梅田ターミナルビル17階・ビアダイニング／キッチン＆バー「シーファー」。1800円(ワンドリンクつき)です。

【写 真 部】

昔はカメラにレンズにストロボと重装備で、現像に焼付と手間がかかって、結構それなりの構えが必要でしたが、今はデジタルカメラの簡単操作で、誰もが気軽に綺麗に写真を撮れるようになりました。それでも、運動会や花火など思うように上手く取れないものです。でも大丈夫。ちょっとしたアドバイスで、腕がぐんと上がります。まったくの初心者からセミプロの方まで、どなたでも入会可です。

活動は、桜や紅葉の季節の撮影会のほか、大阪の街のスナップ撮影会、寸評会、講習会などを開きます。参加は自由で、会費は無料ですが、講習会などの際は会場費の実費をいただきます。会員による写真展も開催したいと思っています。

楽しく写真を撮りながらみなさんと親睦を深めるのがねらいです。ふるってご参加を。9月にも初会合を開く予定です。倶楽部ニュースの案内をご覧ください。

※部会長 大塚征慈郎(昭38年政経)

幹 事 小林 一則(昭55年政経)

岡本 周三(昭57年社学)

花の写真をアップで撮るコツは・・・



花火の写真も難しくありません

暑中お見舞い申し上げます

東京製綱株式会社代理店 崎島商工株式会社 取締役社長 綱田 健次郎 本社 〒550-0021 大阪市西区川口4-8-16 TEL.06(6581)0121 FAX.06(6581)0125 mail sakisima@ninus.ocn.ne.jp 昭46年 社会科学	日本メッシュ工業株式会社 営業本部 勤務 林 仁 TEL.072(250)0554 mail m.hayashi@nihon-mesh.co.jp 特別賛助会員	モノづくり事業協同組合大阪支部 常勤理事 大阪支部長 森本 真史 TEL&FAX 06(6631)0103 E-mail:smorimoto@monotsukuri.or.jp 昭60年 社会科学 体育局柔道部
校友会奈良県支部 支部長 (株)中島弘文堂印刷所 代表取締役 中島 敏行 〒537-0002 大阪市東成区深江南2-6-8 TEL.06(6976)8761 昭44年 政経	株式会社 竹中工務店 顧問 人見 亨 mail hitomi.tooru@takenaka.co.jp 昭45年 理工	ヤブモト工業(株) 取締役社長 藪本 光彦 昭46年 法
株式会社日進運輸サービス 一般区域貨物自動車運送業 自動車運送取扱業 代表取締役 中西 克昌 本社 〒578-0921 東大阪市水走4-2-3 TEL.072(965)4135 FAX.072(965)2526 昭53年 社会科学	環境にやさしい天然素材(綿の実)の アセテート樹脂を使った手作り万年筆、ボールペン 工房 ロングプロダクツ代表 藤本 寛 〒544-0002 大阪市生野区小路2-19-6 TEL.06(6755)6310 FAX.06(6755)6301 昭33年 政経	阪急阪神第一ホテルグループ 株式会社阪急阪神ホテルズ 代表取締役社長 山澤 俱和 昭46年 法 相談役 河田 一彦 昭42年 商
西田経営会計事務所 税理士 西田 隆郎 〒530-0041 大阪市北区天神橋5-7-10 さかしん天神橋ビル5階 TEL.06(6351)2033 FAX.06(6353)0892 http://tn-kaikei.jp mail nishida@tn-kaikei.jp 昭47年 商	三菱重工冷熱システム株式会社 細谷 一郎 mail ichiro1_hosotani@macs.mhi.co.jp 昭44年 法・ア式蹴球部	山原 一晃 昭37年 建築
西矢 晴雄 昭38年 政経	株式会社クラレ 松尾 博人 昭33年 法	横山 昌弘 昭32年 法 剣道部
野村総合法律事務所 弁護士 野村 公平 昭47年 法	高麗橋法律事務所 弁護士 松下 繁生 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋2-1-10 高麗新ビル3階 TEL.06(6203)4006 FAX.06(6203)7314 昭49年 法	住江織物株式会社 代表取締役社長 吉川 一三 昭45年 商
橋本設計事務所 代表 橋本 隆彦 mail ta.hashi@nifty.com 昭52年 建築	株式会社サイネックス 代表取締役社長 村田 吉優 〒542-0066 大阪市中央区瓦屋町3-6-13 TEL.06(6766)3333(代) FAX.06(6766)3334(代) 昭51年 政経	「野宴」(新阪急ビル屋上ビアガーデン) 浪花ろばた「八角」 株式会社リバーストン 代表取締役 吉田 源三 昭56年 政経

雨のカフェ・ヴィーナーローゼを訪れて

岸本 陽子(平10年文)

5月22日(日)、「Wフォーラム なにわの企業見学会」で江崎修さんのカフェを訪ねた。お店はJR森ノ宮駅からも玉造駅からも歩いて10分ほどの静かな所にある。オフホワイトの壁紙にカラメル色のフローリングの清潔な店内には、ダークブラウンの木製の椅子とそれに合った木の机が行儀よく並んでいた。雨だったせいか、江崎さんと奥様が迎え入れて下さったとき、なぜか気持ちが落ち着いた。

最初に、江崎さんの経歴についてお聞きする。昭和51年に早大文学部日本史専修を卒業したが、石油ショックの影響で就職先が見つからず、もともと好きだった料理の道を選び、辻調理専門学校に入った。当時、料理人に大卒は珍しく、良くも悪くも目立ったが、江崎さんにはメリットに感じられたことが多かった。辻調理専門学校でパンの部門を立ち上げるため、白羽の矢が立ち、ドイツに留学し、パンやドイツ菓子を学んだ。帰国後、パンに長く携わることになるが、3年ほど前に、60代・70代での仕事について考え、教授の職を辞して、開業した。「常に新しいことができないか」と考えていた江崎さんは、辻調理専門学校で珈琲部門を立ち上げる際にも、ドイツに後輩を派遣し、当時まだ珍しかった焙煎の技術を学んだ。そのため、お店には銀色に光る天井まで届く焙煎機があり、焙煎したての珈琲が楽しめる。「収支はとんとんで、儲からないが、今まで学んできたことを店で実践することで生かすことができている」そうだ。

奥様が淹れて下さる珈琲の香り高さが気になり始めた頃、試食が始まった。ウイーンやドイツで学んだケーキや珈琲について解説していただきながら、7種類のケーキと食パン、2種類の珈琲を戴いた。どれも甘すぎることはなく美味だったが、特に、爽やかな酸味の利いたアップフェルシュトロイゼルクーヘン(リンゴのケーキ)とクランツクーヘンが印象に残った。特に、クランツクーヘンは、小学校のクリスマス行事で食べて以来のバタークリームケーキだったが、バタークリームがさっぱりしていた。これは参加者共通の意見だったが、安っぽく平面的で、あまりいい印象のなかったバタークリーム観が変わった。美味しいものは



「カフェ・ヴィーナーローゼ」

一杯の珈琲と甘いお菓子でちょっとひと休み。
新鮮な珈琲とドイツ、ウイーンの菓子など、
自家製でお待ちしております。

大阪市中央区玉造2-25-18

TEL: 06(6167)9488

江崎 修(昭51年文)



こくがあっても、しつこくないのである。

私は甘いものの好きの食いしん坊でもあるが、「何かを創っている」方のお話を聞くのが好きで参加した。江崎さんや奥様のお仕事に対する真摯な姿勢を感じ取ることができ、私も毎日を丁寧に生きなくてはと、心が静かになった。また、一緒に参加した迫さんがケーキについて質問したり、珈琲好きの時枝さんがこだわりを江崎さんに事細かに説明し、質問して、好みに合わせた豆を選び、焙煎してもらったりするなど、戴いた知識が、参加者のお仕事や毎日につながっていくのを目の当たりにすることもできた。普段の生活ではなかなか会えない方に、同窓という縁でお会いできた幸運と、その豊かさを感じることができた幸せな日曜日だった。

余談になるが、江崎さんが学生紛争の間に暇を持て余して立ち上げたラグビーサークル「リスの会」は、平成6年に私が入学した際、まだ存在していた。屈強な男とリスのミスマッチが印象に残り、なぜかあのサークルの新入生歓迎ビラに書かれていたイラストを、私はまだ鮮明に思い出すことができる。

最後になりましたが、楽しい一時のためにお世話いただいた豊島さん、江崎さんご夫妻に感謝いたします。

投資運用でだまされないために

豊島 恵子(昭52年法)

Wフォーラムの講演会を4月28日、大阪新阪急ホテルで開きました。テーマは、「だまされない投資運用のポイント」。講師は、三菱UFJ投信株式会社大阪営業所長の荒武貞雄さん(昭56年法)です。



あるいは、リーマンショックで火傷した人、あるいは、ブラジルレアルでおいしい思いをした人、はたまた転ばぬ先の杖を探しに来た人などなど、この夜で参集の皆さんの思いは様々でした。この講演が、皆さまのご参考になれば、幸いです。スピーカー荒武貞雄氏は、その名も高き法学部法会出身。かの辛坊治郎氏とは、学部も勉強会も一緒に56年卒同期の桜です。東京転勤を明日に控えた超多忙の折にもかかわらず、快く今回の講演を引き受けてくださいました。

はじめ「ちょろちょろ」で、皆様のご様子をうかがいながらスタートしたお話も、やがて「どんどんよくなる法華の太鼓」状態に…。銀行・保険・投信の金融三界に精通する方ならではの、とても活字にできないお話しが出るわ出るわ!! 講演も佳境に入った9時過ぎ、予定を1時間オーバーして、和やかなうちに



「投資するには、この点に気をつけて」と熱弁をふるう荒武さん(右)

会はお開きとなりました。

今回の講演会を通じ、投資をしてみたいけれど…の一般人は、豊かな知識に裏打ちされた、公平・公正なアドバイスを求めていることを、改めて痛感しました。荒武さんも、定年後はこうしたニーズに応えるべく、気軽にリーズナブルに利用できる投資アドバイザーをやりたいと、おっしゃっていました。数年後大阪にお戻りの節には、ぜひまたご指南のほどを。最後に一言アドバイス。通貨選択型は、要注意。レアルでおいしい思いをしたあなた、そろそろお休み時、だそうですよ。

表紙の言葉 ◆◆◆

仕事の関係で写真を撮る始めてから27年、趣味としてはスポーツを題材に人間本来の姿である喜怒哀楽を撮ってきました。デジカメが全盛となり気軽に撮る写真が主流となってからはジャンルを問わずシャッターを押しています。表紙の写真は一昨年の11月に早稲田を訪ねた時にコンパクトデジカメで撮った1枚、趣のある学舎が少なくなりましたが、定番の銅像と大隈講堂は今でも変わらず。「心の故郷、我が母校」、永遠に残したいアングルです。今後は大阪早稲田倶楽部の仲間と共に大阪を題材に撮影ができれば、と思っています。

岡本 周三(昭57年社学)



地球資源と共に生きる 平成金属株式会社

代表取締役社長

竹田 雅幸 昭47年 商

〒541-0046 大阪市中央区平野町 3-4-9 旭洋ビル 7F
TEL.06(6203)0234 FAX.06(6203)0257

早稲田ラグビーの突破力に心荒ぶる

石戸 稔(昭55年法)

早稲田のえんじのジャージが花園に映える



た。まだシーズン初めということもあり、前半はボールが手につかない場面が多々見受けられましたが、前半も半ばを過ぎると徐々にヒートアップし、熱のこもった攻防が観られました。

昔と違い、最近は早稲田大学の選手達も大変体格が良くなってきました。国立競技場における伝統の早明戦で、華奢な早稲田の選手が明治の重量フォワードに押し捲られる試合を散々見てきた過去の経験からすると隔世の感があります。それでも展

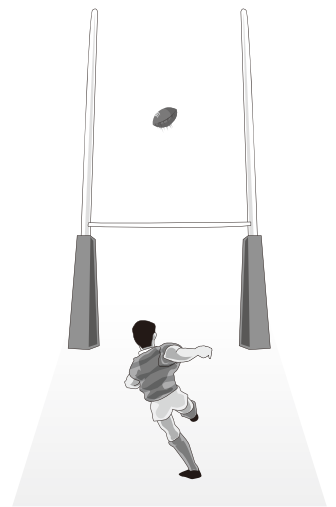
第5回関西ラグビー祭りが5月15日(日)、五月晴れのもと近鉄花園ラグビー場で開催され、多くの人々が集まりました。本年もラグビー祭りとして女子ラグビー戦、子供向けラグビー教室など色々な催しが行なわれました。その中でメインイベントとして「東西大学対抗戦」と銘打ち、関西学院大学対慶應義塾大学、同志社大学対早稲田大学の現役ラグビー部対抗戦の2試合が行なわれました。このような試合が関西で行なわれることはとても珍しく、多くの各校関係者で大変な賑わいでした。

我が大阪早稲田倶楽部の関係者も約60人が参加し、熱戦に大いに盛り上がりました。

試合結果は次の通りです。関学対慶應は、31対22で関西学院大学が勝利しました。同志社対早稲田は、29対59と早稲田大学がダブルスコアで勝利しまし

開の早いパスワークから鋭く敵陣に攻め込むお家芸は健在のようで安心しました。双方の実力から見て同志社に点を取られ過ぎの感は否めませんが、選手たちの奮闘にエールを送ります。

同志社対早稲田大学の対抗戦は来年以降も定期戦として催されることになっているとのこと。ただ、関西ラグビー祭りのイベントとして開催されるかどうかは未定ようです。今年は観戦できなかった方も来年は是非ご観戦下さい。



Yomiuri

企画 *planning*

デザイン *design*

印刷 *printing*

大阪読売サービス株式会社

〒530-0055 大阪市北区野崎町5番9号

お問い合わせ

制作センター

TEL:06-6366-1823

FAX:06-6881-7235

E-mail:seisaku@oys.co.jp

ふたたび被曝

釜我 昭(昭35年法)

※ 新聞！明日への希望を感じる時 私の幸せな一日は始まる ※

津波が押し寄せた被災地では可憐な菜の花がしっかりと咲いていた
(福島県新地町で 5月2日)



今年の倶楽部総会の講演会では、読売新聞大阪本社の佐藤三千男氏(昭47年政経)による「最近の新聞事情」についての講演があり、新聞がより身近に感じられた。「活字(新聞)は永遠なり」。私は今も信じている。しかし次のような会話がわが家でもありました。

「へえ、おばあちゃんの小学生の時には携帯電話なかったの信じられへん」。3年前の事でした。瞬時に世界の情報が地球の果てまで駆け巡る世の中が現実となり、東日本大震災の時には地震と津波の状況を画像と音声で発信し続ける現地の首長さんが世界的な賞を受けました。大変喜ばしいことです。新聞の使命は読者に考える時間を与えることだ。私は少し遅れの、目にやさしい活字が好きだ。拡げて全体を見渡せる。手にとって一週間でも一カ月でも側に置く安心感がある。

紙面には国民の生活にかかわる大事な事が朝夕報じられます。これに対して社の論説がある。新聞社は一社だけではない。数社が国民に信を問うている。政治家以上に頭の中は全開でなければならない。「新聞は新鮮なり」。多くの記者が世界を駆けめぐり、取材した記事はITを駆使して早朝には家庭のお茶の間に届けられる。

新聞とテレビの違いは、テレビは与えられるもの、新聞は自分でまな板の上に置いてしっかり料理するもの。読者は料理人の気持ちになる。私の小さな部屋の中には黄色の鉛筆で印をつけた新聞紙が3カ月分、3カ月分、記者への敬意を込めて整然と整理されている。

9.11(2001.9.11)、リーマンショック(2008.9)、そして東日本大震災(3.11)。歴史を感じて先を思う。現役の頃は商売と趣味と交流に明け暮れ、ニュースは

テレビ、新聞からはスポーツと社会面という生活でした。今は先々の時間との闘いが続いている。

2011.3.11.14.46 日本人だけでなく世界の人々にとっても忘れられない避けて通れない種を残して大震災は去っていった。東北地方の方々は私達日本に住む人々に代わって災害に遭われました。日本は地震国です。いつどこに起きてもおかしくないと言われています。

「恐れの中に 恐るべかりけるは ただ なみなりけり」(方丈記)

古くは津波を なみ と云った。今世紀大津波に遭った私達日本人はスマトラ沖地震の時にはじめて津波が世界の言葉として使われている事を知る。今度の大地震と大津波は原発の恐ろしさを世界に知らしめた。

津波や地震 火事やテロ それでも原発は安全だ

どんなに大きな災害でも時間とともに風化する。今こそ私達日本人の人々が利害に動かされたりしないで落ち着いて頭を働かせる時です。

- ・ 今回の福島原発の事故で人間が原子力を制御できているわけではないことが明らかになった。年々増えて行く放射性廃棄物も心配だ。

中学生(東京) 5/29

- ・ そもそも政治とは何か。国民のことを考え国をよりよくするためのものではないのか。首相の座を巡る駆け引きなど権力闘争をニュースで見るたび、私は悲しくなるし怒りたくなる。

中学生(長崎) 6/21

- ・ この山奥の澄んだ空気にも放射性物質が含まれているのではないかと。自制心が働いて深く息を吸う事をやめた。子供たちがこんなにすがすがしい空気を思いっきり吸えないのは悲しい。

大人(福島) 5/7

大人は多感な中学生の声に脱帽です。若い世代の人達が成長して全ての世界の国々と手を結ぶ時が来るでしょう。人類が滅亡しては意味がない。核なき世界を作りましょう。自然エネルギーの研究開発に全世界の研究者はコンペに参加しましょう。科学と外交それは重ねて被曝した国の生きる道です。(2011.6.24 記)

平成23年度役員・理事名簿

会 長 角 和夫 (昭48年政経)
 理 事 長 人見 亨 (昭45年理工)
 副理事長 山澤 俱和 (昭46年法)
 副理事長 稲田 増光 (昭47年政経)
 副理事長 小泉じゅん子 (昭47年文)

副理事長 竹田 雅幸 (昭47年商)
 副理事長 熊澤 一郎 (昭51年商)
 監 事 岩崎 勇作 (昭47年商)
 監 事 野村 公平 (昭47年法)

新任理事
(任期2年)
38名

山下 和彦 (昭29年法)
楠本 光智 (昭30年商)
横山 昌弘 (昭32年法)
釜我 昭 (昭35年法)
野中 稔 (昭36年理工)
山原 一晃 (昭37年理工)
大塚 征慈郎 (昭38年政経)
野中 民蔵 (昭40年法)
津野 英男 (昭40年政経)
森本 充威 (昭40年商)
加地 道弘 (昭42年商)
三野 正男 (昭42年商)
河田 一彦 (昭42年商)
揚野 寛 (昭43年政経)
小林 哲也 (昭43年政経)
田尾 秀寛 (昭44年商)
中島 敏行 (昭44年政経)
向井 利明 (昭44年政経)
人見 亨 (昭45年理工)
山澤 俱和 (昭46年法)
西田 隆郎 (昭47年商)
角 和夫 (昭48年政経)
藤原 充 (昭51年商)
熊澤 一郎 (昭51年商)

佐藤 光宏 (昭53年理工)
中司 宏 (昭54年文)
石戸 稔 (昭55年法)
小林 一則 (昭55年政経)
田中 啓一朗 (昭55年社会学)
林田 元宏 (昭60年政経)
稲部 勝博 (昭60年商)
竹市 正彦 (平元年理工)
和田 浩孝 (平元年教育)
松浪 武久 (平元年商)
大西 平一 (平4年政経)
前田 修 (平6年政経)
蘆田 知一 (平9年理工)
瀬川 隆行 (平11年商)

平成23年度役員・理事名簿

現任理事
(任期1年)
54名

若月 宏之 (昭28年理工)	砂川 功次 (昭47年商)
高野 泰明 (昭29年法)	松下 繁生 (昭49年法)
勝部 慶次 (昭32年商)	鳴神 静治 (昭51年商)
辻 重隆 (昭32年商)	山口 守 (昭51年文)
藤原 和 (昭33年政経)	豊島 恵子 (昭52年法)
田中 宏 (昭33年文)	尾田 沙智乎 (昭52年商)
宮岡 一夫 (昭33年文)	三森 勇作 (昭52年社学)
大賀 浩輔 (昭33年理工)	福田 一夫 (昭53年政経)
松尾 博人 (昭33年法)	中西 克昌 (昭53年社学)
岡野 雄次 (昭35年商)	谷崎 整史 (昭53年政経)
片山 善夫 (昭35年法)	島田 隆史 (昭54年政経)
高月 璋介 (昭36年教育)	田村 昌之 (昭54年法)
高久保 禎良 (昭36年法)	相間 靖三 (昭55年理工)
北原 仁巳 (昭36年法)	賛川 芳郎 (昭57年教育)
大内 英男 (昭36年商)	吉川 茂樹 (昭58年政経)
山田 純子 (昭38年理工)	三木 基司 (昭61年教育)
原 佐知子 (昭38年教育)	種田 ゆみこ (平元年商)
山川 賢 (昭38年政経)	大塚 紹子 (平元年文)
田中 建治 (昭39年法)	南川 佳範 (平4年商)
森 一貫 (昭40年政経)	生島 けいじ (平5年商)
勝山 清 (昭42年商)	関 寛之 (平8年理工)
吉川 一三 (昭45年商)	松浪 健太 (平9年商)
藤井 俊男 (昭45年法)	埴田 豊 (平14年文)
洲上 彰吾 (昭45年政経)	深井 光雄 (平15年理工)
田附 隆 (昭45年商)	八田 禅 (平17年文)
関 邦彦 (昭46年法)	
竹田 雅幸 (昭47年商)	
稻田 増光 (昭47年政経)	
小泉じゅん子 (昭47年文)	

早稲田大学校友会大阪府支部



校友会とは

早稲田大学の第1回の卒業生が出た翌年の1885年（明治18年）に発足し、今年で126年になります。都道府県の支部や地域、職域の稲門会、体育各部やゼミ、サークルの稲門会などのネットワークがあります。大学を卒業すると校友会会員となり、国内だけでなく海外にも及び、57万人に上ります。

在学生への奨学金や、大学への寄付講座開設などで支援しているほか、校友の同窓会活動を応援したり、本学のホームカミングデーに合わせて稲門祭を開催するなどの活動を行っています。

校友会大阪府支部

大阪府内に在住、在職する卒業生全員が会員で、約8,000人を数えます。1920年（大正9年）に誕生した大阪早稲田倶楽部とともに校友、会員相互の親睦、交流を図っています。事務局は大阪早稲田倶楽部内に置いています。

事 業

毎年11月に定時総会を持ち、本学総長や教授らを招いて講演会を開催。また、進学を目指す生徒や父母、学校関係者らへの大学案内・説明会、さらに在学生の父母の懇談会や相談会などを企画しています。

昨年度は校友会創立125周年を記念し、日本橋の国立文楽劇場において今年1月15日、文楽観劇会を開催しました。早稲田大学演劇博物館の鳥越文蔵名誉教授による講演と本学OBの文楽人形遣いの吉田勘緑氏による人形解説もあり、多くの校友に楽しんでももらいました。これを機に、関西の伝統の演劇文化を鑑賞しながら盛り立てようとの気運が高まり、大阪早稲田倶楽部内に新しい部会の関西演劇文化研究会が発足。校友会としては毎年1月に演劇鑑賞会を企画することになっています。

また、校友によるゴルフ大会も125周年記念として昨年9月、第1回大会を開催。今年は別項の通り9月10日に第2回大会を開きます。

役 員

支 部 長：角 和夫（昭48年政経）
 副支部長：向井 利明（昭44年政経） 人見 亨（昭45年理工）
 福井 澄郎（昭45年政経） 吉川 一三（昭45年商）
 西田 隆郎（昭47年商）
 幹 事 長：石戸 稔（昭55年法）



文楽ほか関西の誇る演劇にもっと目を向けよう。校友会大阪府支部も盛り立てを支援

定期総会

日 時：2011年（平成23年）11月13日（日）

会 場：大阪新阪急ホテル（大阪市北区）

講 演：鎌田 薫（早稲田大学総長）

島 善高（早稲田大学社会科学総合学術院教授）演題「大隈重信と近代日本」

第2回 校友会大阪府支部ゴルフ大会

日 時：2011年（平成23年）9月10日（土） 8:00スタート

場 所：飛鳥カンツリー倶楽部（奈良市二名7丁目）

組 数：36組

競 技：ダブルペリア方式

プレー費：18,000円（昼食、キャディフィを含む）

会 費：5,000円（賞品、会食代）※1998年（平成10年）以降卒業の方は2,500円

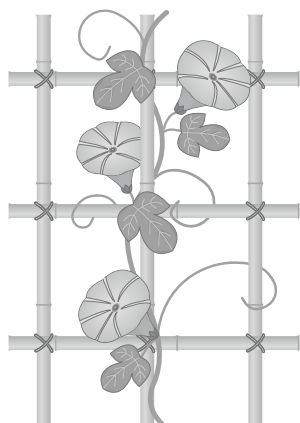
申し込み：大阪早稲田倶楽部事務局へ。定員になり次第締め切ります。

収支決算書

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

収入の部		
会 費		7,701,145
寄付金		65,000
出版協力金		645,000
事業収入		1,291,965
雑収入		1,048,559
会員名簿収入		0
基金取り崩し収入		0
当期収入合計		10,751,669
支出の部		
事業費	事業費	1,516,684
	印刷費	1,528,680
	会計名簿	0
	小 計	3,045,364
経費	給料・諸手当	3,192,582
	家賃・共益費	1,729,960
	通 信 費	659,990
	消耗品費	471,027
	振替手数料	22,575
	慶弔接待費	20,237
	雑 費	849,034
	予 備 費	0
	小 計	6,945,405
備品購入支出		0
当期支出合計		9,990,769
当期収支差額		760,900
前期繰越額		6,676,091
次期繰越額		7,436,991

(単位・円)



規約改正 ◆◆◆

倶楽部規約を改正

倶楽部規約の改正案が5月の総会で承認されました。会員資格や役員の役割などを変更し、曖昧だった表現も改めました。また、青年部の資格は大学卒業後15年以内と新たに決めました。主な改正は下記の通りです。

▶ 会員の種類及び資格

- ・近畿地区に在住か在勤の人は正会員だが、正会員が後に近畿以外に転出した場合でも正会員の資格を継続できることになった。これまでは、この場合は地方会員となっていた。

▶ 資格の喪失

- ・会費の滞納が2年に及んだ際は会員資格を失う。現行は、「長期滞納」との規定で長期についての説明がなかった。

▶ 総会の構成員

- ・総会は正会員で組織するとした。大阪の稲門の倶楽部という趣旨から、総会には地方会員と特別賛助会員には遠慮いただく。

▶ 役 員

- ・理事は「若干名」としていたが、100名以内とした。常任理事は実態がないので削除した。

▶ 執行役員会

- ・会長と理事長、副理事長で新たに組織した。業務の運営や規約で定めた事項、理事会、総会で報告・決議する事項を協議する。

▶ 青年部

- ・大学卒業後15年以内の会員で構成するとした。現行に年限の規定はなかった。

大阪早稲田倶楽部

〒530-8310 大阪市北区芝田1-1-35

大阪新阪急ホテル3階

TEL: 06(6377)2002

FAX: 06(6377)2003

URL: <http://www.osakawaseda.jp>

mail: 125@osakawaseda.jp

倶楽部室開館時間: 月～金(祝日、年末年始を除く)

11:00～18:00

※今年のお盆休みは、8月13日～15日です。

編集／大阪早稲田倶楽部 広報委員会

印刷／大阪読売サービス株式会社



阪急阪神東宝グループ

夢をまばゆく映す華舞台

Takarazuka Revue



宝塚大劇場

●阪急宝塚駅下車

●お問い合わせ **TEL.0570-00-5100**

※一部の携帯電話、PHS、IP電話などからのご利用いただけません
(営業時間/10:00～17:00 水曜定休)

東京宝塚劇場

●JR有楽町駅、東京メトロ・都営地下鉄日比谷駅下車

●お問い合わせ **TEL.03-5251-2001**

(営業時間/10:00～18:00 月曜定休)

【宝塚歌劇公式ホームページ】<http://kageki.hankyu.co.jp/> 【宝塚歌劇公式携帯サイト **モバイルタカラヅカ**】<http://takarazuka.tw/>

